

BAM ワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）（愛称）ウインドミル**BAM ワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)（愛称）ウインドミル1年**

運用担当部署	先進国ソブリン債券チーム
運用担当者数	9名（アナリスト等含む）
投資哲学	<p>市場を動かす主たるドライバーはマクロ経済要因</p> <ul style="list-style-type: none">● 循環的・構造的要因を考慮したマクロ経済分析によるトップダウン・アプローチ● 短期的なノイズを排除した経済・市場の全体像を正しく捉えることが重要 <p>債券市場には非効率性が存在</p> <ul style="list-style-type: none">● マクロ経済要因が中長期的な市場の水準を決定● 短期的には、投資家毎に市場の見方が異なるため、収益機会が発生 <p>複数のグローバル・マクロ経済シナリオを策定し、安定的な収益の獲得を図る</p> <ul style="list-style-type: none">● 単一のシナリオのみに基づいた投資判断によるリスクを回避
運用責任者 略歴	<ul style="list-style-type: none">● リード・ポートフォリオ・マネジャーとして、内外の顧客向けのグローバル債券・通貨運用を担う。2008年ベアリング投信投資顧問株式会社（現ベアリングス・ジャパン株式会社）入社。ベアリングス入社以前は、日系アセット・マネジメント会社にて債券運用部長を務め、19年にわたり一般勘定や年金資産向けの内外債券運用を担当。債権証券化にも携わるなど幅広い経験を持つ。 <p>日本証券アナリスト協会検定会員、CFA協会認定証券アナリスト。</p>
運用責任者 経験年数	36年（2025年9月末時点）

アジア未来成長株式ファンド

アジア未来成長株式ファンド（3ヶ月決算型）

運用担当部署	アジア株式（除く日本）および香港・中国株式チーム
運用担当者数	13名（アナリスト等含む）
投資哲学	<p>株式市場には非効率性が存在</p> <ul style="list-style-type: none">● 非効率性は個別銘柄レベルで最も顕著であるため、銘柄選定が超過収益の源泉● 経験豊富なリサーチ・チームとアクティブ・マネージャーによるボトムアップの銘柄選定を重視● 規律正しいボトムアップの選定プロセスを通じて、リスク調整後リターン達成が可能 <p>GARP(Growth at a Reasonable Price)の銘柄選定を通じた魅力的な収益機会の特定</p> <ul style="list-style-type: none">● 各企業の経営戦略、収益率の向上の余地、利益改善の潜在性を横断的に分析● 長期的な観点から、現在の株価がファンダメンタルズを反映していない銘柄を特定● ESGやマクロ経済環境を考慮した独自のバリュエーション評価モデルを活用した企業評価
共同運用責任者 2名の略歴	<ul style="list-style-type: none">● アジア株式（除く中国）投資責任者。ベアリングス・アセアン・フロンティア・ファンド、ベアリングス・アジア・グロース・ファンド、ベアリングス・イースタン・トラスト、ベアリングス・コリア・トラスト及びベアリングス・オーストラリア・ファンドの共同ポートフォリオ・マネージャーを務める。2005年11月にベアリングス入社。ベアリングス入社以前は、日系投資会社（シンガポール）にてオーストラリア及びマレーシアのカントリー・スペシャリストを務めた。それ以前は、シンガポールの大手通信会社の資産運用部門でタイ及びマレーシア株式の運用業務に従事。CFA協会認定証券アナリスト。● ベアリングス・アジア株式チーム・メンバー。ベアリングス・アジア・グロース・ファンド、ベアリングス・イースタン・トラスト、ベアリングス・コリア・トラストなどのアジア株式（除く日本）の商品及びマンデートの共同マネージャーを務める。共同運用責任者との緊密な連携により、韓国市場及びテクノロジーセクターにおけるリサーチ及び銘柄選択の指揮を執る。2007年6月のベアリングス入社以前は韓国の証券会社にて韓国担当アナリスト。
共同運用責任者 平均経験年数	23年（2025年9月末時点）